

# 金属部会定例会議事録

2013.2.23

金属部会

日時：平成25年2月20日(水)18時00分～20時40分

場所：(社)日本技術士会 荻手第二ビル5階 会議室

出席者(敬称略)： 笹口裕昭氏(講演者)、池谷秀行、池田大亮、大山光男、奥村貞雄、角間弘志、神戸良雄、木原啓介、小柳拓央、小林経明、後藤 明、齋藤雅彦、芝崎誠、神藤典一、清水進、中村隆彌、新井田有慶、野坂恵介、野村晃平、萩野太郎、濱田賢祐、浜口賢祐、藤原昌彦、山崎宏、吉武進也、渡辺孫也、松田みゆき(織維)、菊池俊雄(電気電子)、二村憲太郎、第一次試験合格者：海老原寿、黄野銀介、鳴海雅稔、 合計 32名

## 配布資料(敬称略)

- (1) 金属部会議事次第、出席者名簿、部会案内、見学会、(山崎審議員)
- (2) 講演資料 技術士試験の見直しについて(資料-1)、平成25年度技術士第2次試験実施大綱(資料-2)、平成25年度技術士試験制度の概要について(資料-3)、講演配布資料(笹口裕昭副部会長)
- (3) 日本技術士会 理事会報告(2013.1月度)概要、平成24年度第5回理事会議事次第他(浦辺修一理事)
- (4) 日刊工業新聞 新連載コーナーへの投稿募集(広報委員会委員長)、部会長報告(清水進部会長)
- (5) 議事録(案)及び社会貢献委員会(H24-第7回)、金属部会報告(新井田有慶委員)
- (6) 『経済産業省の情報セキュリティ政策について』ニューオータニイン東京、3013.23.4、(吉武名誉部会長)
- (7) 筑波宇宙センターご見学について(案)(吉武名誉部会長)
- (8) 会員の技術士業務報酬に関わる調査の実施について、(雇用促進委員会委員長)、(萩野太郎委員)

## 1. 講演：「平成25年度技術士第二次試験について」

講師：笹口裕昭氏(金属、建設、総合技術監理) 笹口技術士事務所 所長

### 講演内容

#### (1) 第2次試験の改正ポイント

本日は技術士第2次試験筆記試験の改正について次試験要領における変更点とその改正ポイントを解説する。今回の第2次試験の変更は、主催者側の試験業務合理化が主体であって、受験者にとっての配慮は見られない。主な第2次試験改正のポイントの項目は 必須科目が択一式に、必須科目が足切りに、『課題解決』能力は選択科目で、出題数は回答数の2倍程度に、技術的体験論文は廃止、口頭試験の時間が短縮された。

### 2013年度 筆記試験の概要

試験科目	現行(2007-2012)			改正後(2013以降)		
	問題の種類	解答枚数	試験時間	問題の種類	解答枚数	試験時間
選択科目	「選択科目」に関する専門知識と応用能力	600字 x 6枚	3.5時間	「選択科目」に関する専門知識と応用能力	600字 x 4	2.0時間
				「選択科目」に関する課題解決能力	600字 x 3	2.0時間
必須科目	「技術部門」全般にわたる論理的考察力と課題解決能力	600字 x 3枚(記述式)	2.5時間	「技術部門」全般にわたる専門知識	20問中15問解答(択一式)	1.5時間

(注) 変更点のなかで の必須科目の足切りは2年間は実施されない。

#### (2) 今回の改正で筆記試験はどう変わる？

##### 選択科目の問題の種類

専門知識と応用能力：解答用紙4枚 @ 2時間 課題解決能力：解答用紙3枚 @ 2時間

##### 2013年度 選択科目の予想

内容	解答数	枚数	出題数	試験時間	配点	合否
専門知識(-1)	1問	600字 x 1枚	2問	2時間	40点	60%(全体の合計点計80点のうち)
応用能力(-2)	1問	600字 x 3枚	2問			
課題解決能力(-3)	1問	600字 x 3枚	2問(普遍的な問題も)	2時間	40点	

## 選択科目はどう変わる？

### 専門知識を問う問題；

解答用紙 1 枚(600 字)でまとめる

2 問出題, そのうち 1 問を選択する

問題の内容: 「選択科目」における重要キーワードや 新技術等に対する専門的知識を問う内容 とする

### 応用能力を問う問題；

解答用紙 3 枚(1,800 字)

2 問出題, そのうち 1 問を選択する

問題の内容: 「選択科目」に関係する業務に関し, 与えられた 条件に合わせて, 専門的知識や実務経験に基づいて業務遂行手順が説明でき, 業務上で留意すべき点や工夫を要する点等についての認識があるかを問う内容とする

### 課題解決能力を問う問題；

解答用紙 3 枚(1,800 字)

2 問出題, そのうち 1 問を選択する

問題の内容: 「選択科目」に係わる社会的な変化・技術に係る最新の状況や「選択科目」に共通する普遍的な問題を対象とし, これに対する課題の抽出を行わせ, 多様な視点からの分析によって実現可能な解決策の提示が行えるか等を問う内容とする

## 必須科目はどう変わる？

### 必須科目の問題の種類；

すべて択一問題: 20 問中 15 問解答 @ 1.5 時間 60%(9 問)で合格

「技術部門」における不可欠な技術, 社会的に重要なキーワード, 業務における関連法規・制度等に対する専門的知識を問う

極端に難易度が高い出題とならないよう留意する

2004-2006 に毎年出題された項目

粗鋼生産量, 電炉比率などの鉄鋼生産関連統計, ・銅, アルミ, 亜鉛, マグネシウムなどの非鉄金属精錬・金属全般の基本特性・金属の強化法・塑性加工, 金属材料の成形・溶接, 接合法・鋳造法・酸化, 腐食, 防食法

(3) 2013 年度からは受験申込みの業務経歴書にこれまで実施されてきた業務実績論文の提出に変わり, 受験申込書に 720 字以内で, 業務内容の詳細を記入する。受験申込書の記入例を示した。

(4) 口頭試験の試験時間の変更; 2001~2006 年: 30 分, 2007~2012 年: 45 分, 新しい 2013 年: 20 分(場合によって延長) 口頭試験の試問事項の例としては下記のように変更される。

・ 技術的経験を中心とする経歴の内容と応用能力

・ 技術士としての適格性及び一般的知識 (1) 技術者倫理 (2) 技術士制度の認識

従来の、必須科目及び選択科目に関する専門知識及び見識 (1) 体系的専門知識 (2) 技術に対する見識 は口頭試験から削除された。

## 2. 次期理事候補者の選出に関して、

清水進部会長から現理事の浦辺修一氏が諸般の事由により次期理事候補は辞退したいとの意向を受け、1月23日の幹事会で検討、山崎現審議員に再度理事候補をお願いした。20名の幹事に推薦人になって戴き届出した。

## 3. 次期理事候補者山崎宏審議員から；

“立候補の抱負を話され、本日から選挙活動が解禁になりましたので、皆様のたいなる応援をお願いしたいとの話がありました。”

## 4. 部会案内、見学会の説明、参加者の報告：(山崎 宏審議員)

## 5. 理事会報告、特別委員会報告：(清水進部会長)

## 6. 報告事項

\* 倫理委員会 (報告: 小林経明委員)

\* 企画委員会 (報告: 神藤典一委員)

\* 活用促進委員会 (報告: 萩野太郎委員)

\* CPD実行委員会 (報告: 池谷秀行委員・笹口裕昭委員長)

\* 社会貢献委員会 (報告: 新井田有慶委員)

\* 科学技術基本計画支援実行委員会 (報告: 渡辺孫也委員長)

- \* 業務幹旋実行委員会 (報告:芝崎 誠委員)
- \* 中小企業交流実行委員会 (報告:池田大亮委員)
- \* 海外活動支援実行委員会 (報告:齋藤雅彦委員)
- \* 青年技術士交流実行委員会(報告:山本憲志委員)
- \* YES Metals!の状況 (報告:小柳拓央幹事)

## 7. 次回予定:

### (1) 見学会

日時 : 平成25年3月13日(水) 9:00~18:30

場所: 筑波宇宙センター見学会梅林散策

JAXA宇宙高級研究開発機構 筑波宇宙センター

講演「国際宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)に搭載された最先端技術について」

### (2) 第1次 第2次技術士試験合格者歓迎会

日時:平成25年4月17日(水) 17:00~20:30

場所: ニューオータニイン東京 大崎駅前 ももきりの間

以上